令和5年度全国木材資源リサイクル協会連合会

通常総会議事録

開催日時 : 令和5年5月26日(金)14:30~15:10

場 所: タワーホール船堀

(東京都江戸川区船堀4-1-1)

総会員数 : 正会員200社+6協会=206団体(うち議決権199)

賛助会員29社、物流会員12社

出 席:正会員44社・6団体 50名

書面表決 : 59通

委 任 状 : 54通 合計163名

事務局員 : 1名

議事

第1号議案 令和4年度事業報告

第2号議案 令和4年度決算

第3号議案 令和5年度事業計画

第4号議案 令和5年度当初予算

第5号議案 役員の改選

報告事項

- (1) 木材資源リサイクル調査及び広報活動推進委員会活動報告
- (2) 寄附金の募集について

議事内容

司会 専務理事 原 信男

1. 司会からの総会成立の報告

総会の正会員の出席は4.4社・6協会であり、また正会員から1.1.3通の書面表決と委任状が提出されているので、併せて1.5.7社・6協会が出席したことになる。これは議決権数1.9.9団体の過半数を上回っており、総会が成立しているとの報告があった。

2. 理事長挨拶 藤枝慎治 理事長

お忙しい中、総会にお集まりいただき、ありがとうございます。関東協会から引き続きの方は長時間になるが、ありがとうございます。通常規模の対面での総会は久しぶりであり、今日は全国からお集まりいただいた。遠いところ、ありがとうございます。欧州の「サーマルリサイクルはリサイクルではない」という意見に対して、昨年度、ワーキンググループをつくって専門家のご意見をいただきながら、我々のビジネスがどのようにカーボンニュートラルに寄与するのかを検討した。こうした活動は非常に大事なものである。改めて、国や関係方面に、我々のビジネスがカーボンニュートラルに寄与しているということ

を説明していきたい。本日の総会は、令和4年度の事業報告・収支報告、令和5年度の事業計画案・収支計画案についてご審議いただく。また、本年は役員改選の年であり、新役員の選任議案もある。それぞれ慎重審議をお願いするとともに、議事進行へのご協力をお願いし、冒頭のご挨拶とする。

3. 議長選出

本日の総会の議長について、藤枝慎治理事長を議長とすることで了解を求めたところ、 全員異議なく承認された。

4. 議事録署名人選出

関東協会の彦坂裕一氏、九州協会の芦塚雄介氏に議事録署名人となることの了解を得、 全員異議なく承認された。

5. 議事 議長 藤枝 慎治 理事長

議長が、第1号議案について事務局から説明することを求めた。

第1号議案 「令和4年度事業報告」

(原専務理事)

資料に基づき、事務局から次の説明があった。

事業の成果の主要な事項について、建廃のサーマル利用のCO2削減効果を明らかにするためにワーキンググループによる検討を進めたこと、ネットワークセキュリティーの強化のためUTMを導入したこと、4月27日に新しい事務所に移転したことなどの説明があった。

定款の事業に関しては、次の説明があった。

1の普及啓発事業は、子供向けのリーフレット「木のリサイクルのおはなし」を増刷しエコプロ2022で活用した。また、リモートによる河川内樹木等の利用に関する講習会に参加した。2のイベント、講演等の開催事業は、新型コロナウイルスの関係から多くの催しが開催されない中、エコプロ2022に出展した。

3の調査・研究事業は、国への要望、木質バイオマス需給調査など各種調査の活用、FIT制度への対応等のほか、木質バイオマスのサーマル利用に関する欧州の動きを踏まえてカーボンニュートラルワーキンググループによる建廃のサーマル利用のCO2削減効果の検討を進めた。また、木質資源安定供給検討会は参加者を絞らず開催した。

4の情報提供事業は、国や自治体などとの調整を進めた。

5の援助に関する事業は、地域協会との連携を図った。また、国に関係した委員会や検討会に委員として参加したほか、コンサルのヒヤリングにも対応した。

第1号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

議長が、第2号議案について事務局から説明することを求めた。

第2号議案 「令和4年度決算」

(原専務理事)

資料に基づき、事務局から次の説明があった。

経常収益は 9,208,438 円。会費収入は 5,197,000 円で微減、受取寄付金は 3,620,000 円で 目標の 3,600,000 円を達成、事業収益等は前年並み。前年比較で計 32,750 円の微増。

経常費用は 9,410,501 円。地代家賃は移転費用や家賃の増額があったが、前年度に新事務所の初期費用があったために 99,896 円の減、新規でカーボンニュートラル WG の業務委託費 2,035,000 円の増、通信費は UTM の導入や Z00M のアカウント増により 211,183 円の増など。前年比較で計 2,140,093 円の増。

結果、当期経常増減額は202,063円のマイナス。

以上の説明について、矢吹監事から、適正に処理されていることを確認したとの監査報告があった。

第2号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

議長が、第3号議案について事務局から説明することを求めた。

第3号議案 「令和5年度事業計画」

(原専務理事)

資料に基づき、事務局から次の説明があった。

事業計画の概要について、令和5年度は、新型コロナの感染症法上の位置づけも5類へ移行し、各方面でコロナ前の社会経済活動に戻る動きもあるが、物流業界における2024年問題など多くの課題がある。関係機関と連携を強化しつつ事業に取り組んでいく。

(活動方針及び事業計画)

- 1. 活動方針及び事業計画については例年通りである。
- 2. 普及啓発事業はホームページの活用など。講演等の開催事業は効果あるイベントへの出展など。調査・研究事業は国への要望、各種調査の活用、先進地域の視察、FIT制度の対応、物流業界の2024年問題の対応、木質資源安定供給検討会など。情報提供事業はカーボンニュートラルWG報告書の活用など。援助事業は各地域協会との連携など。

第3号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

議長が、第4号議案について事務局から説明することを求めた。

第4号議案 「令和5年度当初予算」

(原専務理事)

資料に基づき、事務局から次の説明があった。

経常収益は 9,265,000 円。会費は会員及び取扱量の増により 168,000 円の増、寄付金は例年同様の目標金額 3,600,000 円の設定など、前年度予算に比べて 18,000 円の微増。なお、会費は会員数と取扱量で算出するが、令和 5 年度の会費は資料の通り確定していること。

経常費用は9,103,000円。地代家賃は通常に戻り1,046,000円と282,000円の減、カーボンニュートラルWGの業務委託費2,035,000円の減など。各費目とも精査して計上し、計9,103,000円。前年度予算と比較して2,370,000円の大幅減。

これにより、正味財産増減額は162,000円の増となる見込み。

第4号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

議長が、第5号議案について事務局から説明することを求めた。

第5号議案 「役員の改選」

(原専務理事)

資料に基づき、事務局から次の説明があった。

片岡重治氏が任期満了により退任することに伴い、岡崎博紀氏を後任とする。それ以外の 役員は留任とする。また、役員は全員就任を承諾している旨の報告があった。

第5号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

6 報告事項

(1) 木材資源リサイクル調査及び広報活動推進委員会の報告 (原専務理事)

事務局から、資料に基づき令和 4 年度の活動報告及び委員の交代について次の報告があった。

第1回委員会を令和5年3月23日に、リモートにより開催した。令和5年度の理事会提 出議案などを中心に意見交換した。

また、令和5年度から、中四国木材資源リサイクル協会の地域委員を岡﨑博紀氏から末長 明美氏に交代する。

(2) 寄附金の募集について

厳しい社会経済情勢であるが、令和5年度は前年度と同額の寄付額を見込んでいるので寄 附募集の趣旨にご理解とご賛同をいただき、格別のご協力、ご支援をお願いする。

最後に、片岡氏から、退任の挨拶があった。

以上で通常総会におけるすべての審議、報告が終わり、この議事録通り相違ないとして、 議長及び議事録署名人において記名捺印する。

令和5年5月29日

議 長藤枝慎治 印

議事録署名人 彦坂 裕一 印

同 芦塚 雄介 ⑩

議事録作成人 原 信男 印